

## 第4回 グリーンバレー神室検討委員会議事概要

日 時：令和4年3月25日(金) 午後2時～  
場 所：金山町役場大会議室 進行：関係長  
欠 席：矢口 卯之助（下向区長）  
柿崎 尚弥（金山町森林組合青年部）  
渡部 雅人（もがみ北部商工会青年部）

### 1 開 会

### 2 挨 拶

#### ・委員長あいさつ

本日は第4回の検討委員会ということで報告案をとりまとめた。最後となりますのでよろしくお願ひしたい。

#### ・町長あいさつ

4回目の検討委員会。たいへん重いテーマではありましたが委員長はじめ委員の皆さんにはご難儀をおかけした。この間緊急アンケートを実施したところ80%を超える回収率となった。今日の資料にも入っている。非常に大きい課題だと感じているところ。今日のとりまとめ結果を受けまして、それを受け取りまして、さらに吟味を加えた上で、十分尊重した上でとなりますが、町民への丁寧な説明をしながら、今年の9月ごろを目途に町の方針を決定していきたいと考えているところ。本日のとりまとめが大きな意味を持っている。

### 3 協. 議 （座長：齊藤委員長）

#### (1) アンケート結果について

##### ・アンケート結果

資料のとおり

##### ・事務局作成のまとめ表

アンケート結果を元に端的にまとめた表。あくまで参考資料として作成した。大きく結果が割れたホットハウスカムロの方針をふたつに分けたもの。

#### (2) 委員会報告案について

##### ・委員長作成の報告案

読み上げ

#### (3) 町づくり緊急アンケート結果について（参考）

#### (4) 意見交換

・意見交換

早坂議員

まちづくり緊急アンケート結果では、継続を望む施設でホテルレストラン 44%、ホットハウスカムロの方が 55%と必要する町民の意向が高い。ただ、検討委員会だとホテルレストランの継続を望む形になっているがその点はどのようなふうに捉えているか。

齊藤委員長

報告書の案にも書かせてもらっているが、町民の宿泊ニーズや高規格道路の共用開始後の観光需要を踏まえると、ホテルレストランの運営を指定管理期間は現行の公社で運用していくのが好ましいと考える。ホットハウスに関しては悩ましい。そこで2つの案を提案している。

ホットハウスの大規模改修に6億円は負担できないことを前提としている。町として修繕や運営に充てられる費用を改めて算定した上で、町で捻出できる費用の範囲に入らないようであれば決断することも必要とさせていただいた。ホテル・レストランについても町民はほぼ五分五分で大きく分かれているようでございますので、案ではそれを踏まえて記載させていただいた。

柴田議員

神室検討委員会でアンケートを実施したが、ホテルとホットハウスの状況等についてJRの考えはどのようなものか。

町長

JR の意見については、現在のところ具体的な話にはなっていない。3月の取締役会があったが、JR 関係者は前日の地震の影響により来ることができなかった。日程調整も打診したが、当面の間難しい状況だった。取締役会は3月中に開催しなければならないと定められているため地震の翌日に開催した。検討委員会での検討内容についてJR側に説明する予定だったができなかったため、現状詳細は説明できていない状況にある。

柴田議員

JR との関係性がある中で、JR が株主の継続ができなくなった場合、町だけ運営していくのは非常に困難であると考えます。

町長

JR には、神室振興公社の運営状況が厳しいことについて情報を共有している。この3月に

資本金から 1,000 万円を取り崩しながら運営していることも情報共有している。今後、概ねの方針を決定する必要があるが、振興公社の運営が厳しい場合は、町からの支援が必要であると考えている。町が公社に対し、補助金として支出する場合または増資という2つの方法があるが、増資の場合は出資割合などの問題から支社での判断は難しく、本社とのやりとりが必要になるため、まだ具体的な協議にはなっていないが、今後も JR 側と意見交換や情報共有しながら対応について検討していく。

#### 矢口議員

最終報告案も出ている中だが、一言。

委員の皆さんの意見を含めてまとまった内容であることは認識している。ただ、神室一帯の継続について自分自身、例えば第3ゲレンデのみの活用など様々なことを考えてみた。指定管理先については十分な協議が必要である。また、高規格道路供用開始による交流人口拡大に向けて遊学の森や民間で運営するホースセラピーを含む GV 神室一体を盛り上げられないかと考えている。そのためふるさと納税を活用した短期での資金獲得の視点ももう少し必要だったと思う。GV 神室は先代、町民が築いてきた財産である。社会情勢も十分にわかっているが、GV 神室が無くなった金山町は想像できない。人口減少も多く問題だが、若い世代の転出も大きな課題。GV 神室は若者が誇れる場と確信している。令和3年4月～令和4年2月までで出生24名、亡くなった方が94名。転入者が47名、転出者が103名。転出者をなんとか減らせないかと考えている。若い世代が金山町に戻れるようにしてほしいなど、町民の声を耳にしており、私見を述べさせていただいた。

#### 近岡委員

最終報告案の内容は、基本的に各委員の意見が反映されていると感じた。付け加えて、人口減少をいかに食い止めるかが最大の課題である。町の財源を各事業にいかに配分するかが大切だと思うが、人口減少を食い止めないかぎりその財源も確保していけない。町の中で人口を増加することは難しい。そこで都市圏から人を呼びこむことが重要である。その際に入り口として宿泊施設は非常に重要な役割を果たすと感じている。今回林業関係者で転勤する人が、金山町のことをすごく評価してくれ、ホテルに泊まってくれた。そういった方々は一定数いるだろう。また、帰省する子供や孫たちのためにもホテルは必要。ホテルは現行の指定管理期間の内はなんとか改善しながら経営し、指定管理期間が終了するときに改めて考えるのがいいと思う。ただ民間譲渡か廃止については最終的なもので、廃止は避けなければならない。温泉は町から支出できる最低限の費用を算定しなおした上で、今後について検討する必要がある。最低限温泉でなくても、部屋風呂に代わるものがあれば良いと思う。スキー場・キャンプ場に関しては現状や費用対効果を考えた結果民間譲渡や廃止となった場合、跡地利用についてもしっかりと考えることが重要。荒れ地とするわけにはいかないので、ホテルと一括して管理運用していくのが良いと考える。

報告書案に若干コメントをつけさせていただいたが、概ね賛同させていただきたい。

矢口議員

スキー場が大変だということはみんなわかっている。クロカンが町技。ゲレンデについては色々考えがあるだろうけども、クロカンを守っていけないかという思いがある。

柴田議員

委員としては、個人の意見ではなく、慎重に考えた上での意見をしなければならないと感じている。財政難の時に続けること、財政難だから止めてしまうことどちらにもメリットデメリットがある。町民の皆さんから聞いた意見を代表して申し上げると、最低3年は様子を見てはどうかという意見がある。その間の財政支出は増えることになるわけですが、3年かけて意見を聞いたりアンケートをしたりしながら町民皆で考える時間をいただきたい。少し期間を設けたうえで、慎重に検討していくことが必要だと考える。

中村議員

委員長案について内容については賛成である。先週ホテルのレストランを会議で活用させていただいた。料理や接客が非常に良かった。全国的に経営難の施設が多い中で、コロナ禍であるこのタイミングが非常に悪い。時期が悪い時に急いで判断しないほうがいいのではないか。高規格道路延伸などのきっかけで好転する可能性もある。もう少し様子を見る必要があるのではないか。現在の指定管理期間の終了時に再検討するのではなくコロナ等世界情勢などを鑑みたタイミングで判断してはどうかと思う。町民の福祉向上のために、指定管理制度を実施したと思う。どの程度までの負担をできるのかという算定を今後すると思うが、基本的にできるだけ指定管理はやらない方向がいいと考える。

須賀委員

今年度の冬の状況はどうでしたか。町の人口減少が進んでいるが推計をどのようにみえますか。将来のことを考えているときに、財政という人がいないとダメである。最上地域でどのような方向に進めていくのか話を進めていると思うが、高規格道路ができるからと商売できる場所として施設の建設等を検討していると報道にもあったが、それで神室に人がいっぱい来るとは考えにくいのではないか。金山にしかないものは何か。じっくり考える必要があるのではないか。最上地域全体としても人口が少なくなっている。3村で共同している話も聞いた。金山ばかりで考えても難しいので、最上広域としてももの考えた上で、長期的なことを考えているのだから、この委員会で話した内容だけで決めるのではなく、ゆっくり考えて議会の皆さんにもしっかりと検討をお願いしたい。スキー場の土地については有屋山林組合から借りている土地である。当然賃貸料も発生している。赤字だから賃貸料はいらぬとはなっていないでしょう。アンケートの結果がこうだったから

こうすると結論出すのではなく、JR との関係も非常に大きい。資料をたくさん作成したわけだから来年度ゆっくり検討し、議会でも十分検討していただき、最上地域や金山が将来どのようなになるか予測していかなければならない。スキースキーと言うが昔は河川公園で練習する子供もいたが今年は誰もいない。情勢がどんどん変わっているので、今の情勢を考えて急がないでやっていかないといろいろなものに響いてくる。若者に金山はもうだめだと思わせるわけにはいかない。進学で遠くに行くと男でも女でも帰ってこない状況。人口推計などいろいろなことを総合的に考えて、最上広域全体としてどういう方向に進んでいくのか、その中で金山はどうあるべきかなど、いろんな意見を出し合って議員の皆さんには考えてもらわないと。アンケートに答えるのは簡単だ。アンケート結果の多いか少ないかですぐ結論を出すのはダメだと思う。議員の皆さんにもご苦勞をおかけするが、協力できることはする。キャンプ場のお客で子供連れが多いのでマナーの悪い者もいる。有屋の住民から苦情が出ないのかなとも思う。結論を急がずに最上地域はどうあるべきか、その中で金山はどうあるべきかということをゆっくり考えて結論を出していくのがいいのではないか。JR も今の時期は大変で相談も受けられないのではないか。

事務局 中村 今年度のスキー場の売上 950 万円。ここ 10 数年で最大。要因は値上げしたこと。搬送人員は下から 3 番目くらい。冬キャンプの利用者は 260 名。キャンプ場の収入は 100 万円を超え、売上は過去最大となっている。

- ・アンケートの修正

議論を踏まえて改めてアンケートを修正する機会としたい（修正後は別添）

－休憩－

#### （５）最終報告について

齋藤委員長

最終報告について、各委員から貴重な意見をいただいた中で、もう少し時間をかけてという意見がありました。「本報告等を参考に慎重に最終的な結論を導くことが望ましい」と盛り込むことでいかがか。アンケートの結果に大きな変更はなかったことから、他の部分はこのままとしていきたい。町長に最終報告をする際に、町として慎重に検討いただく旨議事録に残すこととし、委員会で出た意見も十分考慮いただくことを伝えたい。

最終報告について意見ありますか。

意見なし

#### ４ その他

- ・今後のスケジュールについて

資料のとおりスケジュールで今後進めていきたいと考えている。